

諫早市教育委員会議事録
令和8年第5回（4月定例）

令和8年第5回（4月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和8年4月28日（火）
16時00分～16時50分
- 2 場 所 諫早市役所 8階 会議室8-1
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 石橋 芳秋
教育総務課長 池 政信
学校改革推進室長 青木 信高
学校教育課長 山口 隆
生涯学習課長 松原めぐみ
- 5 議 題
議案第10号 諫早市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について
報告第1号 臨時代理の報告について（諫早市教育委員会職員の任免について）
報告第2号 臨時代理の報告について（諫早市立幼稚園規則の一部を改正する規則）
報告第3号 臨時代理の報告について（諫早市学校運営協議会委員の任命について）
報告第4号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）
議案第11号 諫早市教育支援委員会委員の委嘱について

議事録署名人の指名

山口委員と中野委員を議事録署名人に指名

教育長職務代理者の指定

原田委員を教育長職務代理者に指定

議事の非公開

報告第3号、報告第4号及び議案第11号は人事案件であるため
非公開

議事録の承認

令和8年第4回（3月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告》

今回は、四つ話題を載せている。

まず、卒業証書授与式について、中学校が3月10日、小学校が17日、幼稚園が13日に行われ、感動的な卒業式であった。クラスにおいては、最後のお別れの会が開かれ、保護者共々学び舎を感動の中で、子どもたちは巣立っていった。私は有喜中学校、大草小

学校、諫早幼稚園に行った。特に大草小学校は、1人だけの卒業式だった。1人は、何をやるにしても、上級生代表の役回りをして、全ての学年を背負い、大変だったろうけれども、立派に成長して卒業された。

入学式は中学校が9日、小学校が10日、幼稚園が13日に行われた。今回は、できるだけ感動を味わってほしく、学校教育課の職員を送り込んだ。非常によかったと、感動して帰ってきた。なお、諫早市全体の児童生徒は、小学生が7,058人、中学生が3,378人で、昨年より若干少なくなっている。

諫早市の教育ということで「明るく 楽しく 面白く」と4本柱を立てている。

一つは「豊かな人間教育」、これは明るい学級作り、特別活動および道徳教育の充実、人権教育、平和教育、いじめ不登校を減らすなど、私はこの5年間ずっと掲げてやってきた。挨拶、感謝、気遣い、そういうことが自然のふるまいの中に出るように。

「確かな学力の向上」、何ととっても、授業の質を向上させる。これも5年間ずっと言い続けたことで、いろんな授業改善がなされ、いい授業が展開されているものと思う。私は4月にあった今回の学力調査は手応えがあっていると思っている。非常に頑張っており、期待をしているところである。

I C T教育の推進は、2月に全ての子どもたちと教職員に端末を配布した。今回、新しいソフト「ミライシード」を入れ、子どもたちが自分の進度に応じて、いろんな問題を解くことができる仕組みを取り入れている。1万人を超す児童生徒にこのようなソフトを入れたのは、長崎県の自治体では初めてである。予算もかかったが、学力向上ということにご理解をいただいた。子どもたちが自ら勉強でき、授業でも家庭でも問題を端末を通じてやっていくと、自動的に採点してくれるので先生たちの業務の効率化と、発達段階や習熟度に応じて進められるため、子どもたちの確かな学力の定着が図られるものと考えている。

働き方改革、働きがい改革においては、I C T等を取り入れて業務を削減していき、年休を取りやすい体制などメリハリのある勤務の取り入れなど、いろんな面で職場環境を整えていきたい。

課題としては、いじめ、不登校の問題である。このいじめ、不登校についてもいろんな手を打っており、小野委員さんにもいろんなバックアップをしていただいている。諫早市のいじめ、不登校問題については、着々と成果を上げるというところまではないが、少しずつ減っていく状況になっていけばいいなと考えている。

問題点の二つ目は、保護者等の要望増加にどう対応するかということである。子ども同士の喧嘩や子どもと教師との関係、学校側の対応など保護者等の要望が教員の負担になっているため、学校教育課に1人採用し対応している。

教員不足については、定数分の配置はできているが、年度途中の欠員、例えば産休育休、病休などはその都度対応して補充していかなければいけないという問題がある。

部活動の地域展開は、今年度から運動部が休祭日に地域展開し、現在100を超える地域クラブの申請が上がっており、非常に順調であると感じる。ただ、平日は自分の学校で、学校の先生に見てもらい、休祭日はどこかに集まって行っている。そういうときの移動手段を含めていろんな手立てができないか考えており、少し補助ができるような制度があるので考えている。文化部は主に吹奏楽部が月曜日から金曜日まで活動しており、9月を目途に、休祭日を地域展開していく。令和12年度末を目途に、全ての部活動を地域展開にしていく。できるところからあんまり焦らず、じっくりとやっていきたいと思っている。なお、長崎や大村、五島は、中体連を学校行事から外すということだが、諫早市は学校行事として行っていく。中体連が学校行事でない場合、教員の引率はずかず、代休についても子どもたちが土、日曜日に一生懸命やっても、翌日の月曜日は普通どおりということになるので、非常に負担が大きいと思っている。

新規採用教職員について、小学校で21名、中学校で18名、事務職員が1名、計40名が諫早市の小中学校に配置された。小学校は例年並み、中学校は去年より倍増している。4月2日の辞令交付式の時に「新しい風が吹いている、初任者たちは眩しい存在でキラキラしている。教え方は未熟かもしれないが、子どもたちにとってはフレッシュな先生が目の前にいることはとても嬉しいことではないかと。だから自信持って失敗してもいいから思い切ってやってほしい」と激励をした。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

ミライシードについて、何年生から使えるのか、これは主に家庭学習用として取り入れられたのか、子どもたちの利用状況は、先生が確認できることを前提に作られているのか、それとも自由に使っていていいものか。

[学校教育課長]

小学校1年生から中学校3年生まで全員使える。ただ、小学1, 2年生は、教科が国語と算数に限定されている。これは計算ドリルなども組み込んでおり、子どもたちの間違いにAIが簡単な問題からやり直させてくれることから、授業でも家庭学習でも使える。さらに、例えば中学生になって、小学校のつまずきの部分を簡単に見ることができるので、自分でつまずきをやり直すことができるという利点もある。また、自動採点のテストも備えており、子どもがパソコン上でテストを受け、提出すると採点は一瞬で終わり、教職員は記述問題だけを丸付けするだけとなる。また、みんなで同じ問題を解き、モニターにみんなの答えを写すこともでき、子ども同士でそれぞれの答えを見ることができるよう設定されている。

[委員]

不登校の子どもにも家庭で対応できるということか。

[学校教育課長]

タブレット等さえあれば、もしくはなくても自分のパソコンにログインするIDさえわかれば、休んでいる子も自分のペースで進められる。SSRステップアップルームに来ている子どもも使いやすい環境となっている。

[委員]

学校に行けない子どもがそれを使って学習することは、学校と共有できるのか。

[学校教育課長]

結果も集約できるので、子どもたちがどれだけの問題に取り組んでいるのか、どこにつまずいているのかを個々に見ることができるので、つまずきやすい子どもたちへの手厚い支援ができるものと考えている。

[教育長]

AIが組み込まれているが、その効果はどうか。

[学校教育課長]

ドリルとして使う場合、紙媒体だと何回もすると慣れて覚えてしまいう子もいるが、AIだとどんどん違う問題を組み替えてその子に応じて出してくれるので、AIの力に期待している。

[委員]

似たようなソフトがあるのか。これを選択された経緯は。

[学校教育課長]

これまで現場で自由にモニターとしていろんな会社のソフトを使ってきた経緯がある。その中でも、全国的にも名前が知られ、力も

あり、全国学力テストを扱っている業者であるということ、また価格面のメリットもあったことから、今回このミライシードの採用に至った。昨年度までも割と多くの学校でこれをお試しで使っていた。各学校で使っていて、これがいいということで、諫早市全体で使用するようになった。

[委員]

このミライシードについて、1年前ぐらいに、ベネッセ関係で学校の情報が漏えいしたということがあったが、その辺りは大丈夫か。

[学校教育課長]

住所など個人情報を入れていないのと、2段階認証で入っていくなど、より強固になっている。

[委員]

部活動の件で、文化部が消滅していると聞いた。具体的には、この4月に入学した生徒が、姉が美術部だったので、妹も同じ部に入ろうとしたら、「今年から平日でも顧問がいないので、保護者がでただけければ美術部は存続します。」と言われ、結果的にはでもらえる保護者がいなかったのが存続しなかったそうです。「帰宅生が増えているのでは」と聞かれたが。

[学校教育課長]

指導者については、県のマッチングシステムに登録されているところと、学校の場所によって指導が可能な人を探していくシステムに登録されている。それがうまくいけば存続はできる。現場にも調べてみよう思う。

[教育長]

平日の部活動は、学校で先生たちが顧問となって行う。5月には部活動調査を行い、今のようなことがあるとすれば、学校に改めて説明しなければならないと思う。

議 事

議案第10号 諫早市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

学校教育課長 説明

《学校教育課長の説明に対する質問・意見》

[委員]

学校教育アドバイザーは1名配置ですか。

[学校教育課長]

1名配置です。

[委員]

保護者との対応に関する相談案件が増えているので、1名では対処が厳しいと思う。小学校1名、中学校1名となるように増員することはできないか。

[学校教育課長]

できれば増やしたい。業者によって専門の外部機関につながるシステムもあるようだが、諫早市としては元行政や小中学校の校長経験者があと一人中学校にいて、専門家や行政との橋渡し役ができれば、より動きが良くなり、困っている保護者や児童生徒が救われると考えている。

原案どおり可決

報告第1号 臨時代理の報告について（諫早市教育委員会職員の任免について）

教育総務課長 説明

《教育総務課長の説明に対する質問・意見》

質問・意見なし

了承

報告第2号 臨時代理の報告について（諫早市立幼稚園規則の一部を改正する規則）

教育総務課長 説明

《教育総務課長の説明に対する質問・意見》

[委員]

園児数の現状は、今年度4月の段階で何人ですか。

[教育総務課長]

17名である。

[教育長]

延長保育と満3歳児保育を8年度から実施をしており、これからその効果があり増えていくことを期待している。

了承

《学校教育課長からの報告》

- 1 令和8年度 諫早市学級編制児童生徒数について
- 2 令和8年度 諫早市小学校・中学校運動会実施予定について

《学校教育課長からの報告に対する質問・意見》

質問・意見なし

《非公開議事》

報告第3号 臨時代理の報告について（諫早市学校運営協議会委員の委嘱について）

学校教育課長 説明

削除

了承

報告第4号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）

生涯学習課長 説明

削除

了承

議案第11号 諫早市教育支援委員会委員の委嘱について

学校教育課長 説明

削除

原案どおり可決

その他

教育総務課長

- 1 5月の定例教育委員会の日程について
- 2 長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会および合同研修会について

16時50分閉会